



ナレッジキャピタル超学校2020

ボードゲームが環境問題をおもしろくする

ゲームの力を使った社会課題解決方法を学ぶ2回の講座



昨今、教育や医療、災害などの分野において、ゲームを活用した情報提供やシミュレーションが注目を集めています。これらは、「シリアスゲーム」と呼ばれ、格差、差別、環境などさまざまな社会問題をテーマとした作品が世界中で作られています。日々の生活と地球環境問題の接点づくりを、特にボードゲームを用いて行っている地球研の取り組みや、ゲームの力を使った社会における課題解決方法の今後の可能性についてご紹介します。



1/24 (金) 19:00 - 20:30 (開場 18:30)

1/31 (金) 19:00 - 20:30 (開場 18:30)

ボードゲームで遊びながら 持続可能な開発を学ぼう

定員先着
30名

講師 **王 智弘** (おう ともひろ)
総合地球環境学研究所 外来研究員

研究者は如何にして心配するのをやめ、 ゲームジャムを開くようになったか

定員先着
50名

講師 **太田 和彦** (おあた かずひこ)
総合地球環境学研究所 研究員



グランフロント大阪 北館 ナレッジキャピタル1F
CAFE Lab. (カフェラボ)



各回 **500円** (1ドリンク付き)

参加申し込みについて

公式ウェブサイト (<https://kc-i.jp/activity/chogakko/>) よりお申し込みください。

(第1回定員30名 / 第2回定員50名・先着順)

※お電話でのお申し込みはできません。

お問い合わせ (平日の9:00 - 17:00の間にお問い合わせください。)

一般社団法人ナレッジキャピタル TEL: 06-6372-6427

総合地球環境学研究所 広報室 TEL: 075-707-2128



主催

一般社団法人ナレッジキャピタル・株式会社KMO・総合地球環境学研究所

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

地球研では、社会の持続可能性の向上を目的としたさまざまな取り組みへの参加を促すツールとして、ゲームに可能性を見出し、環境問題をはじめとする社会課題をテーマにしたアナログのボードゲーム「シリアスボードゲーム」を開発してきました。2018年からは、シリアスボードゲームを限られた時間の中で作り上げるイベント「シリアスボードゲームジャム」を、大学およびゲーム制作会社と共催しています。本講座では、これらのゲームの体験や制作プロセスにおけるコミュニケーションの様子と、ゲーミングという課題解決アプローチの今後の可能性についてご紹介します。



1/24(金) 19:00 - 20:30(開場 18:30)

1 ボードゲームで遊びながら 持続可能な開発を学ぼう

私たちの生活は、水、食糧、化石燃料などさまざまな天然資源の消費の上に成り立っています。現代の社会では、例えば、食料の生産や食品の流通にもエネルギーが不可欠のように、資源間のつながりも複雑化しています。人口増加や世界経済の発展を背景に天然資源の需要増加が見込まれ、持続可能な資源の開発は、地球環境問題における重要な課題になっています。グローバル化や都市化を背景に天然資源が開発される現場は、ますます私たちの視界に入りにくくなっています。本講座はワークショップ形式で、水産資源を例に、漁業とエネルギー消費の関係や、水産資源を枯渇させない漁業について、ボードゲームで遊びながら楽しく考え、学ぶことを目的としています。



1/31(金) 19:00 - 20:30(開場 18:30)

2 研究者は如何にして心配するのをやめ、 ゲームジャムを開くようになったか

シリアスボードゲームを、4人前後の即席チームで、2日間で一気に作り上げるイベント、それが「シリアスボードゲームジャム」です。2018年～2019年に1回ずつ、研究者、ゲームクリエイター、大学生、一般の方と、地球研で開催しました。ゲームジャムで出来た作品のいくつかは高校の探求授業などでプレイされています。なぜこのようなイベントが始まることになったのか。国内外のシリアスボードゲームをめぐる状況と、今後の課題を含めてご紹介します。



〈講師〉



王 智弘 (おうともひろ)
総合地球環境学研究所 外来研究員

専門は資源論・環境社会学。2013年11月から地球研に在籍。地域社会の天然資源とのかかわりの歴史から、環境問題や持続可能な開発を研究している。

〈講師〉



太田 和彦 (おおたかずひこ)
総合地球環境学研究所 研究員

専門は環境倫理、食農倫理、風土論。持続可能な社会を支えるフードシステムのあり方を研究する、地球研FEASTプロジェクトに2016年4月より在籍。